

R-miniCHOP 療法

血液内科
悪性リンパ腫

ID

患者名

身長 cm

体重 kg

体表面積 m²

初回 ・ 継続 (前回 /)

印

印

★投与量

計算値

リツキサン	375mg/m ²	mg	点滴静注約 3 時間	Day1
オンコビン	1mg/body	mg	点滴静注 15 分	Day3
アドリアシン	25 mg/m ²	mg	点滴静注 30 分	Day3
エンドキサン	400 mg/m ²	mg	点滴静注 2 時間	Day3
プレドニゾロン錠	40 mg/m ²	mg	経口投与	Day1～5

Day 1

投与 30 分前 プレメディ	ソルデム 3A500mL メインルート	生食 500mL +リツキサン 初回投与開始 25mg/時 div 1 時間後 100mg/時 div 2 時間目以降 200mg/時 div 2 回目以降 100mg/時 div 1 時間後 200mg/時 div
-------------------	------------------------	--

Day3

生食 100mL メインルート	生食 100mL+ ラモセトロン 30 分	生食 100mL+ アドリアシン 30 分	生食 20mL+ オンコビン 15 分	生食 500mL + エンドキサン 2 時間
--------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------	------------------------------

次回クール

/

★ 投与スケジュール…1クール 21 日

処方用量

リツキサン	mg	↓			
アドリアシン	mg		↓		
オンコビン	mg		↓		
エンドキサン	mg		↓		
プレドニゾロン錠	mg	-----	-----	-----	-----
(投与日)	1	2	3	4	5
	/	/	/	/	/

★ 注意事項

- ・80 歳以上の合併症を有する患者を対象

【リツキサン】(非炎症)

- ・生食、5%ブドウ糖を加えて 10 倍希釈になるように溶解する
- ・infusion reaction 軽減のために投与 30 分前にプレメディ(解熱鎮痛薬・抗ヒスタミン薬・副腎皮質ホルモンなど)投与を行う。

【オンコビン】(壊死性)

- ・生食、注射用水または5%ブドウ糖を加えて溶解する
- ・1 回量は 2.0mg/body を超えない
- ・過剰投与時にホリナート(ロイコボリン)が有効であったとの症例報告がある
- ・オンコビンによる Grade3 以上の末梢神経障害があれば、オンコビンを中止または減量
- ・しびれは投与終了後 2～8 週で軽快、上肢に強くあらわれる
- ・オンコビンによるイレウスがあれば中止

【エンドキサン】(炎症性)

- ・100mg あたり 5mL の生食または注射用水等に溶解し、適当な輸液で希釈する
- ・揮発性があり、被爆を防ぐために閉鎖式器具を用いて調製する、激しく混和して溶解
- ・出血性膀胱炎防止のため尿量の増加を図る(飲み水の励行など)
- ・《併用禁忌》ペントスタチン(コホリン)

【アドリアシン】(壊死性)

- ・注射用水または生理食塩水で溶解する
- ・生食の場合、10mg あたり 1mL 以上で溶解すること
- ・総投与量 500mg/mm² 以上で重篤な心筋障害を起こす可能性がある。
- ・本剤投与により尿が赤色になる事がある。